



患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します。

西部病院を上手に利用していただくために

病院長 田口 芳雄



その2 当院の入院機能について

今回は当院の入院機能をご説明させて頂きながら、前回の外来診療以上に変化している医療事情をお話したいと思います。平成4年以降医療法の数度の改正で、総合病院の名称はなくなり、病院は大きく次のように分けられました。

- ◇当院のように高度な検査や手術、緊急な手術を要する病気（急性期）の治療をする病院
- ◇急性期が終わり、健康な状態へ回復するまで（回復期）の治療をする病院（リハビリを含む）
- ◇初期治療や診断、日常的な健康相談をする病院

それまでは、規模や得意分野に関係なくひとつの病院が初期治療から急性期の治療まで担当しているといった場合が多く見られました。しかし、それからは病院の得意分野を活かすことが大切になってきたのです。その結果当院においても大きな変化が生じています。患者さまは、外来医師から告げられて初めて入院について考えられるわけで、こうしたことを日頃知る機会が少ないと思いますが、診療所等の地域医療機関、老健・特養等の介護施設と合わせ、病院の機能についても承知して、いざという場合の心構えにして頂きたいと考えます。

入院期間

入院日数を平均した統計を平均在院日数と呼びます。当院では約11日となっていますが、これは脳・心臓等の大きな手術の患者さまを含めたものですので、皆さんはきっと驚かれると思います。救命センターがあり、従来から急性期に対応していた当院では、社会的入院と言われる患者さまはおられませんでした。それでも平成4年は24日でしたから、私自身も驚くほどです。これは、以前の2倍以上の患者さまの入院治療を行っていることになり、より多くの方に西部病院をご利用いただいていることとなります。

入院計画書と病院間連携

短期間で急性期治療を行うためには、病院がしっかりした計画を作るとともに、これを患者さまが納得され、協力して治療に取り組んでいただくことが大切です。

また、急性期の治療が終了し、さらに回復期治療・維持期治療が必要な場合は、ソーシャルワーカーが患者さまと相談し適切な病院をご紹介します病院間連携を行います。

入院計画書

入院診療計画書		
(患者氏名)	_____	_____
	科	診療 診察
診療科目及び病種(病型)	_____	_____
当院以外の担当医名	_____	_____
その他担当医	_____	_____
転院を (転院予定のある病名)	_____	_____
症状	_____	_____
説明	_____	_____

クリニカルパス

この計画とともに、当院では、疾患ごとに、入院中に行う標準的な、処置、検査、手術、ケア等を日付順に一覧できる表「クリニカルパス」をあらかじめ作成し、これを病状等にあわせて調整しつつその結果を記録し患者さまにもお渡ししています。

クリニカルパスは、最良の医療を最も効率よく提供できる方法を各職種のチームで検討したもので、ペースメーカー裏面へつづく

一埋め込み術、突発性難聴、未破裂動脈開頭、胃切除、白内障など100近い種類があります。

さらに、院内だけでなく、当院退院後の回復期の病院や診療所等での治療連携のための「地域連携クリニカルパス」にも取り組んでいます。

クリニカルパス

化学療法 入院治療 計画表		担当医師	看護師	様
経過	治療前日	治療当日	1日目以降	入院後(計画書)
検査	検査を行います に薬を飲めていただきます。 または に薬を服用していただきます。 または ロープの検察回数を数えてください。	検査の結果を行います。	検査の結果を行います。 検査の結果を行います。 検査の結果を行います。	検査の結果を行います。 検査の結果を行います。 検査の結果を行います。
点滴	点滴室に点滴をおこないます。 20:00時 21時	8:30に点滴を開始するアルブミンを採るお薬(シスタミンコーワ)を飲む。14:00時までに点滴が完了します。 9時 11時 13時 15時 17時 19時	点滴室に点滴をおこないます。 点滴室に点滴をおこないます。 点滴室に点滴をおこないます。	点滴室に点滴をおこないます。 点滴室に点滴をおこないます。 点滴室に点滴をおこないます。
安静	安静に過ごしていただきます。	安静に過ごしていただきます。	安静に過ごしていただきます。	安静に過ごしていただきます。
食事	病室に移動していただきます。	病室に移動していただきます。	病室に移動していただきます。	病室に移動していただきます。
排泄	入浴中はシャワー浴となります。 トイレットペーパーの準備はご自身で行ってください。 10時～12時	入浴中はシャワー浴となります。 トイレットペーパーの準備はご自身で行ってください。	入浴中はシャワー浴となります。 トイレットペーパーの準備はご自身で行ってください。	入浴中はシャワー浴となります。 トイレットペーパーの準備はご自身で行ってください。

入院医療費の定額払い制度

患者さまの医療費は国の診療報酬制度によって定められていることはご存知だと思います。この制度では治療行為を積み重ねたいわば「出来高払い」となっておりますが、平成15年度から、入院医療について主な疾病別に出来高ではなく包括定額で病院に支払われる「診断群別医療費定額払い制度」が取り入れられ、当院も平成18年度から採用いたしました。

この制度では、国の定めた最適な治療を最適な入院期間で成し遂げた場合に病院への1日当りの支払額が高くなるように設定されています。逆に入院期間が長引きますと、支払額が低くなり、病院運営に支障をきたすこととなります。この制度は、医療提供者(病院)に合併症のない良質な医療を要求しています。また、患者さまからすると、適切な入院期間で必要な処置、手術等が受けられるとともに、お支払い頂く医療費も抑えられることとなります。その結果、国家規模でも経済的負担が減ることとなります。

当院は急性期病院であることをご理解頂いたうえで上手に利用してください

これまでお話ししましたように、現在当院は急性期入院治療を行う病院として地域医療に貢献しようとしています。このため、検査機器だけでなく医師、看護師等の配置も充実したものになっています。ただし、決して充分という状況にはありません。

今後も当院がこうした機能を発揮するには、疾病の初期から治療までを一つの病院が担う時代は過ぎたことをご理解頂き、急性期病院としての西部病院を上手に利用して頂きますようお願いいたします。

外来受診に際して紹介状の持参をお願いし、病状の安定された場合は地域の診療所をご紹介させて頂いている理由も同様です。

【緩和ケアチームのご案内】

緩和ケアとは、「疾患の早期から受けることのできるケアであり、病気によって起きている問題や起きてくる問題に対応する医療である」と言われ、診断・治療と同時に患者さまやご家族に提供することを目指しています。これまでは、緩和ケアというと「病気が治らない状態、終末期にならないとかかることのできないケア」という意味で使われていたため、実際緩和ケアを受けることに抵抗を感じる方もいます。

しかし、病気になると気持ちが落ち込んでしまうことや不安が伴うこと、治療による痛みや吐き気などの辛さが生じること、医療費の問題などにより、治療を継続することが難しく思われることもあります。そんな辛さや不安を緩和し、治療

を継続できるよう支援することも緩和ケアの一つです。当院では、辛さや不安を抱えた患者さま・ご家族に、出来るだけ安楽に安心して治療・療養して頂きたく思い、昨年8月緩和ケアチームが発足しました。医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ療法士、ソーシャルワーカーがチーム員として活動しています。患者さま、ご家族の「Good Life」に一步でも近づけるよう、様々な面でお手伝いをさせて頂きたいと思っております。現在は入院の患者さま・ご家族を対象にしていますが、今後は外来からの相談も受けていく予定です。何かありましたら、病院職員にお声をかけてください。